株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

第62期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

CONTENTS

トップメッセージ …… P1
財務ハイライト …… P2
部門別の概況 …… P3
連結財務諸表 …… P4
会社概要・株式の状況 …… P5
製品紹介 …… P6

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申しあげます。

このたび、当社グループは第62期中間決算（平成24年４月１日から平成24年９月30日まで）を終了することができました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に伴う公共投資の増加、エコカー補助金制度を背景とした自動車販売の増加に支えられ、企業収益や設備投資は一部に弱い動きが見られましたが、緩やかに持ち直しの傾向にありました。

雇用情勢においても依然として厳しさが残るものの、改善の動きが見られました。

海外経済においては、全体的に減速感が強まっており、中国を含むアジア地域や米国においては景気回復の傾向にはありましたが、そのテンポは緩やかなものとなりました。

また欧州の一部においては、金融不安の拡大により景気は足踏み状態で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、当連結会計年度よりスタートしました新中期３ヶ年経営計画「Acceleration2015」のテーマである「グローバルスピード３倍速の実現」のもと、従来のグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジショニングを狙うべく、改革のスピードアップに努めました。

国内部門では、建設機械市場において引き続き震災復興関連工事や節電・省エネ向けの水中ポンプ及びゲリラ豪雨対策向けの水中ポンプなどの売上が順調に推移しました。

設備機器市場においても汎用水中ポンプの実績が堅調に推移しましたが、水処理プラント市場及び公共工事関連の案件においては、景気の先行き不透明感から引き続き低調に推移しました。

海外部門では、円高により苦戦を強いられましたが、北米地域においては、前年に引き続き鉱山市場での大型水中ポンプの売上が、アジア地域においては、インフラ整備プロジェクトが本格的に開始されたことにより小・中型水中ポンプの売上が順調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、151億82百万円と前年同期比7.1%の増収、営業利益は、10億6百万円と前年同期比14.7%の増益、経常利益は、10億49百万円と前年同期比26.5%の増益、中間純利益は、6億57百万円と前年同期比18.1%の増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、前期と同様の１株につき８円とさせていただきました。

今後のわが国経済は、引き続き震災復興需要を背景に弱いながらも回復傾向で推移するものと思われますが、欧州政府債務危機の動向や世界景気のさらなる下振れリスクの懸念もあり、今後も予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

その中で当社グループにおきましては、「真のグローバル企業」、「世界の水中ポンプのリーディングカンパニーへの挑戦」を実現すべく、グローバルな市場において環境改善に貢献する省エネ・高効率・低コストの環境技術を提案し、ユーザーニーズに常に迅速に対応ができる体制を創り、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成24年12月

代表取締役社長 辻 治

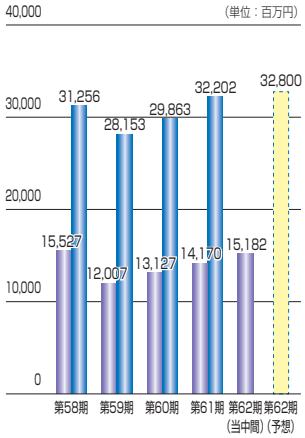
財務ハイライト

Financial Highlights

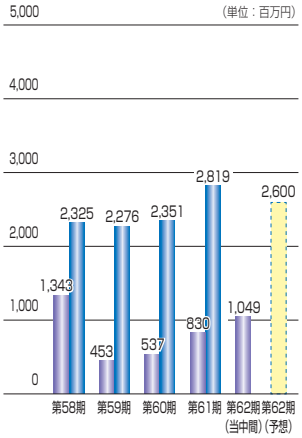
	単位：百万円		割合（%）	単位：百万円	
	第62期（中間）	第61期（中間）	第62期(中間)／第61期(中間)	第61期	第62期（予想）
連結経営成績					
売上高	15,182	14,170	107.1	32,202	32,800
営業利益	1,006	877	114.7	2,469	2,500
経常利益	1,049	830	126.5	2,819	2,600
純利益	657	556	118.1	1,733	1,600
連結財務状態					
総資産	46,073	43,656	105.5	47,490	—
純資産	37,192	35,641	104.4	37,131	—
	単位：円		対前年同期増減額（円）	単位：円	
1株当たり数値					
純利益	26.25	22.22	4.03	69.18	63.87
純資産	1,483.80	1,421.80	62.00	1,481.26	—

連結（中間） 連結（通期）

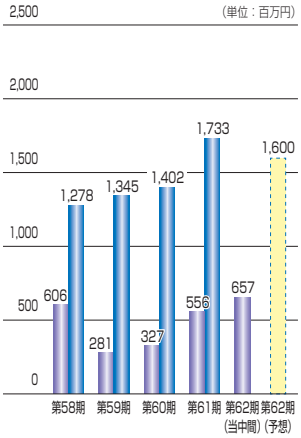
●売上高



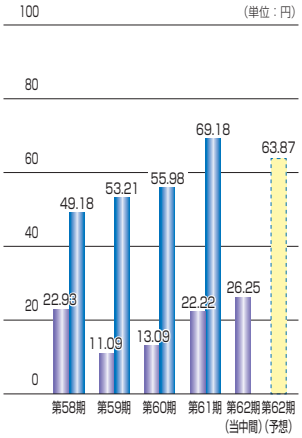
●経常利益



●中間（当期）純利益



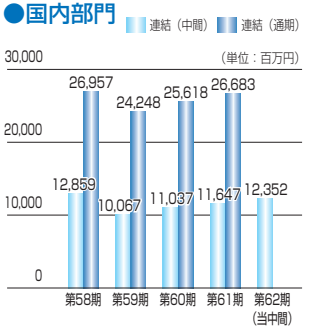
●1株当たり中間（当期）純利益



部門別の概況

Segment Information

●国内部門



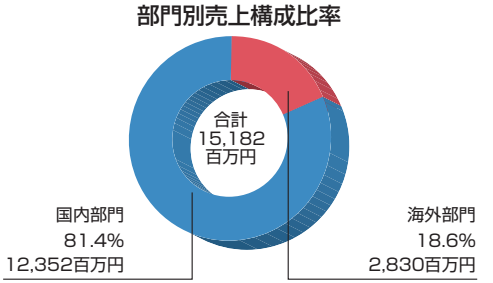
国内部門につきましては、建設機械市場においては、引き続き東日本大震災の復興関連工事に関する商品、除染作業向けの高圧洗浄機及び節電・省エネタイプの電極式自動運転ポンプの販売が順調に推移しました。また相次ぐゲリラ豪雨の浸水被害による復旧作業向けの汎用水中ポンプ及び対策用として雨水排水設備向けに大容量タイプの中・大型水中ポンプの需要が高まるなど、建設機械市場向け商品の売上は増加しました。

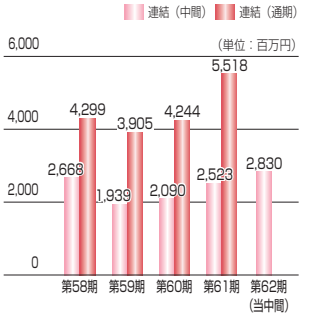
設備機器市場においては、セットメーカー関連向けの汎用水中ポンプの売上が堅調に推移したほか、浄化槽関連・工具工場及び管材関連向けの汎用水中ポンプ、また電力・化学工場などへの真空設備機器関連商品の売上が緩やかながらも増加傾向にありました。

しかしながら水処理プラント市場・公共工事関連向けの中・大型機種においては、依然として景気の先行き不透明感・不確実性が存在していることから本格的な需要回復には至らず、設備機器市場全体としての売上は低調に推移しました。

これらの結果、国内部門の売上高は、前年同期比106.1%の123億52百万円となりました。

●海外部門





海外部門につきましては、前年以上に円高となり苦戦を強いられましたが、北米地域においては、世界的に鉱物資源の需要が減少傾向にはあるものの、鉱山市場向けの大型水中ポンプやレンタル市場向けの小・中型ポンプの売上は順調に推移しました。

アジア地域においては、アジア地域全体でのインフラ整備プロジェクトが本格的に開始されたことにより小・中型の建設工事用水中ポンプの売上が大きく伸長しました。

これらの結果、海外部門の売上高は、前年同期比112.2%の28億30百万円となりました。

Topics

台湾新工場の竣工

かねてより建設中でありました台湾の現地法人TSURUMI PUMP TAIWAN CO.,LTD.の新工場が平成24年11月20日に竣工しました。

台湾桃園縣八徳市にあった既存工場から同縣平鎮市の工業団地内に規模を拡大し、移転しました。

主に小型ポンプの生産を行い、その能力は従来の約2倍の年間30万台となりました。

敷地面積　6,612㎡　　延床面積　5,736㎡

●中間連結貸借対照表の要旨

（単位：百万円）

科　　目	前中間期（平成23年9月30日現在）	当中間期（平成24年9月30日現在）	前　期（平成24年3月31日現在）
資産の部			
流動資産	**22,890**	**22,903**	**24,265**
固定資産	**20,765**	**23,170**	**23,224**
有形固定資産	11,165	11,564	11,446
無形固定資産	413	615	780
投資その他の資産	9,186	10,990	10,997
Point① **資産合計**	**43,656**	**46,073**	**47,490**
負債の部			
流動負債	**5,868**	**6,476**	**8,076**
固定負債	**2,146**	**2,404**	**2,283**
負債合計	**8,014**	**8,881**	**10,359**
純資産の部			
株主資本	**36,838**	**38,269**	**37,813**
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896	7,896
利益剰余金	26,142	27,575	27,117
自己株式	△ 2,388	△ 2,391	△ 2,389
その他の包括利益累計額	**△ 1,218**	**△ 1,101**	**△ 706**
その他有価証券評価差額金	△ 225	△ 197	40
繰延ヘッジ損益	5	2	4
為替換算調整勘定	△ 998	△ 906	△ 750
少数株主持分	**21**	**24**	**24**
Point② **純資産合計**	**35,641**	**37,192**	**37,131**
負債純資産合計	**43,656**	**46,073**	**47,490**

Point① 資産合計

総資産につきましては、46,073百万円と前連結会計年度末に比べ1,417百万円減少しました。

これは、主に資産の部における受取手形及び売掛金の減少と、負債の部における支払手形及び買掛金の減少によるものです。

●中間連結損益計算書の要旨

（単位：百万円）

科　　目	前中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）	当中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）	前　期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）
売上高	14,170	15,182	32,202
売上原価	9,872	10,643	22,679
売上総利益	4,298	4,539	9,522
販売費及び一般管理費	3,420	3,532	7,053
営業利益	**877**	**1,006**	**2,469**
営業外収益	250	285	491
営業外費用	298	242	141
経常利益	**830**	**1,049**	**2,819**
特別利益	83	—	83
税金等調整前中間（当期）純利益	**913**	**1049**	**2,903**
法人税、住民税及び事業税	404	399	1,270
法人税等調整額	△ 48	△ 7	△ 102
少数株主損益調整前中間（当期）純利益	**557**	**658**	**1,734**
少数株主利益	0	0	1
中間（当期）純利益	**556**	**657**	**1,733**

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

（単位：百万円）

科　　目	前中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）	当中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）	前　期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,150**	**1,877**	**1,562**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 300**	**△ 945**	**△ 2,070**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 200**	**173**	**△ 402**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△ 229**	**△ 93**	**△ 40**
現金及び現金同等物の増加額	**419**	**1,013**	**△ 950**
現金及び現金同等物の期首残高	**4,738**	**3,787**	**4,738**
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	**5,157**	**4,801**	**3,787**

Point② 純資産合計

純資産につきましては、37,192百万円と前連結会計年度末に比べ60百万円増加しました。

これは、主に利益剰余金の増加によるものです。

これらの結果、自己資本比率は80.7%（前連結会計年度末78.1%）となりました。

会社概要（平成24年9月30日現在） Corporate Data

商　号　株式会社　鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店　〒538-8585
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL（06）6911-2351（代）

東京本社　〒110-0016
東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL（03）3833-9765（代）

創　業　大正13年（1924年）1月 5 日
設　立　昭和23年（1948年）2月12日
資本金　51億88百万円
従業員　889名（グループ計）
（注）従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役　員

代表取締役社長	辻　本　　治
取締役副社長	廣　田　正　章
取締役常務執行役員	芝　上　英　二
取締役執行役員	中　西　　寛
取締役執行役員	片　桐　健　二
取締役執行役員	田　中　静　夫
取締役執行役員	野　田　　勝
常務執行役員	有　本　高　明
常務執行役員	加茂田　　優
執　行　役　員	髙　井　　優
執　行　役　員	窪　　泰　人
執　行　役　員	千　石　典　昭
執　行　役　員	下　田　剛　史
常勤監査役	駒　澤　賢　二
監　査　役	掛　川　雅　仁
監　査　役	鹿　内　茂　行

（注）監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況（平成24年9月30日現在） Stock Information

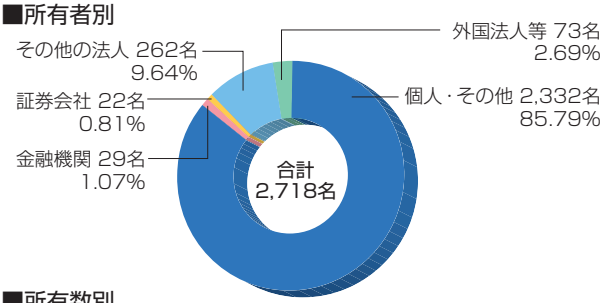
●発行可能株式総数　100,000,000株
●発行済株式の総数　27,829,486株
●株　主　数　2,718名
●大　株　主

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
有限会社ツルミ興産	1,940	7.74
ツルミ共栄会	1,526	6.10
株式会社三井住友銀行	1,242	4.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	700	2.80
デンヨー株式会社	648	2.59
鶴見製作所社員持株会	631	2.52
株式会社有伸興産	518	2.07
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	474	1.89
三井住友信託銀行株式会社	465	1.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	459	1.83

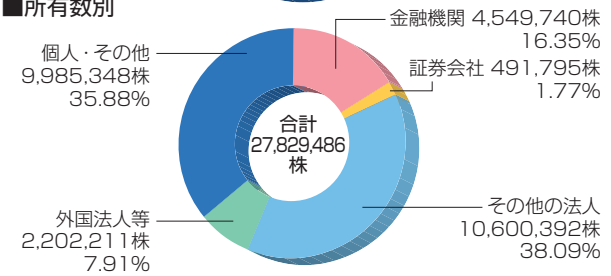
（注）当社は自己株式2,780千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別



■所有数別



ツルミポンプ

自然の驚異!!

多発するゲリラ豪雨

対策ポンプ

KRS型

口径：80~350mm
出力：2.2~37kW

工事現場などで活躍する大容量性能の
KRS型はフランジ接続にする事で、
簡易雨水排水設備などにも対応しています。

KRS型 納入事例

災害時はもちろん、様々な雨水排水設備で
活躍するツルミの **KRS** 型。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続ができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701　東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	☎0120-176-417

＜※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。＞
〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
☎0120-782-031

（インターネットホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

ホームページのご案内

http://www.tsurumipump.co.jp/

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

キャラクター　アメニ君

帽子をかぶり、マントを羽織った少年のキャラクターは「アメニ君」と呼ばれています。
彼は人々の暮らしを、そして地球をもっと快適にするために冒険の旅を続け、そして私たちもアメニ君と共に、もっと人と地球に貢献できる快適工学を推進しています。

ツルミポンプ

VEGETABLE OIL INK
地球環境保護のために植物油インキを使用しています。